



とこう 戸高だより



令和7年度第3号

令和7年5月1日

校長 岡本美加

「学びあう」戸畑高校 ～ 安心して学びあえる安全な環境を ～

今年度、戸畑高校では「学びあう」をキーワードに教育活動を進めています。安心して「学びあう」ためには、学びの場が安全な環境であることが不可欠です。このことを確認するために、今年度より、『戸高安全の日』を月初めに設定することとしました。環境には、物理的な空間だけでなく、人間関係や価値観、社会的な規範など様々な要素があるので、ここでいう安全には、それらの要素も含んでいます。まず、「学びあう」場にふさわしい環境整備を行うため、片付けや清掃は必須です。気づいた人が率先して行いましょう。

次に、「学びあう」仲間として、自分の考えや意見を率直に言い合えるよう心理的安全性を高めることについても、確認する機会にしたいと考えています。心理的安全性(psychological safety)とは、チーム内で安心して自分の考えや気持ちを発言できる状態のことです。例えば、ミスの少ない医療チームほど、ミスの可能性についてメンバー同士が率直に話し合い、ミスを回避するための方法を見つけようとしていることが報告されています。しかし、実際には、こんなことも知らないのかと思われるのではないかと質問をためらったり、こんなこともできないのかと思われるためにミスを隠したり、責任転嫁したりすることが起こりがちです。それを防ぐために、多様な他者と協働する場面を意図的に設定し、失敗しても次の成功につなげる経験を重ね、対話により合意形成する力を身に付けることが必要なのです。戸高生には、自分も他の人も価値ある存在として尊重し、互いの強みを活かし、弱みを補い合う人間関係の土台をつくり、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し、新しい解や納得解を生み出す力を身に付けてほしいと考えています。

また、私たちが安心して生活し、生き生きと社会活動を営むためには、安全な社会が不可欠です。時間どおりに到着する電車、飲める水が出てくる蛇口、快適な空調など、私たちが享受している日常は、世界では当たり前前のごとではありません。戸高生には、単に社会の変化に対応するのではなく、自分が実現したい社会の未来像を思い描き、これまでの常識や社会の枠組みを超える新たな価値を創り出してほしいと期待しています。ゆえに、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら未来を創り出し、社会課題を解決する力を身に付けることについて、確認する機会としても、『戸高安全の日』を活用したいと考えています。

同時に、戸畑高校が安全で安心できる学校であるために、教職員の不祥事防止の日としても位置付けます。皆さんには、先生と1対1でSNSのやり取りをしてはいけないことや、先生の自家用車に乗ってはいけないことなどを知っておいてほしいと思います。

『戸高安全の日』を、自分と周りの人、さらには地域や国際社会の安全、安心のために自分ができること、やるべきことについて、確認し、考え、行動する日としましょう。

戸高列伝 1

33回生 井手康人 氏



北九州市立美術館で開催されている「再興第109回院展」にて行われた、日本美術院同人の井手康人氏のギャラリートークに伺いました。インドネシア神話を基にした出品作品《月乃神》は、大きな月が印象的ですが、貼られた金箔の下にも丁寧に塗りこめられた花々があることは写真ではわかりづらいものです。ぜひ実物を間近で見てください。5月6日(火)まで開催されています。井手氏にご指導いただいた戸高生の日本画ワークショップ作品も展示されています。

今日の一冊



実際の組織で起こった例を示しながら、心理的安全性が組織に与える影響や、重要性を説いています。

『恐れのない組織「心理的安全性」が学習・イノベーション・成長をもたらす』

ハーバード・ビジネススクール教授

エイミー・C・エドモンドソン